

ハビカム
ミライデザイン会議

姫島村

観光資源

名前の由来が古事記や日本書紀にまでさかのぼる神秘の島・姫島。七不思議伝説が息づき、黒曜石の産地として知られるなど、独特な自然や歴史、文化が地域資源として魅力を放っている。日本ジオパークに認定され、ますます注目が高まるこの島で、4人の若手リーダーが観光の未来について話し合った。



観音崎

名物はおいちゃん、おばちゃん

魅力を知らない人多い

三浦 ジオパークや盆踊り、食など、今ある観光資源を使ってどうやって観光客を呼ぶか、PRするかを考えていきましょう。まず自己紹介から。

安西 安西旅館のおかみをしています。福岡県から嫁にきました。

追崎 姫島村青年団の団長です。普段はフェリーで働いています。

園田 JTB九州大分支店の営業課に勤めています。生まれと育ちは熊本県で、大学は福岡県。入社した2年前に初めて大分に来ました。大分のお客さんに国内、海外旅行を提案してご連絡するのが仕事で、姫島にも何回かお連れしました。2012年に初めて来て、ガイドさんと一緒に村歩きをして面白いなと思いました。

須賀 姫島村役場の企画振興課で、ジオパークや地域振興関係の仕事をしています。

木野村 木野村ヤンマー商会の社長です。数年前に観光団体「姫島観光LIP島の風」を立ち上げ、周遊船の船長をやっています。もともと造船鉄鋼業でしたが、今は水産加工品の製造販売も手掛けています。

三浦 姫島は水産と観光の村だけど、漁獲量も人も減って大変だと聞いています。でも、「大変」という字は「大きく変える」「大きく変わる」と読めます。今日がその一歩になればいいなと思います。去年、姫島の海水浴場に来ましたが、遠浅で波もなくてきれいで、小さい子どもでも楽しめます。まだ知らない人も多いのではないですか。まず、住んでいる人から見た姫島の観光スポットとお薦めの食べ物を紙に書いてください。

木野村 観光スポットは「海から見た姫島灯台」。周遊船からも、断崖絶壁の上に建つ灯台を

見上げるのが一番の撮影スポットです。食は、うちで作っている「姫島くるまエビかりんとう」。車エビの味がして、ファンも増えています。

追崎 僕のお薦めスポットは「海」。海水浴場です。船に乗ってきたお客さんに「海がきれい」といわれるとうれしいです。食はやっぱり「エビ」ですね。

須賀 私は「沖の波止(はと)」がお薦め。観音崎に向かう途中、稚エビを養殖している所があって、その先に石で組んだ波止があります。街灯がなく夏は星がきれいで、波の音も心地よく、好きな場所です。食べ物には「えびたこ丼」。手ごろな値段で車エビも食べられます。

安西 お薦めの場所は「観音崎」。夏も冬も、いつ行ってもいいです。夕日もきれいだし、朝は黒曜石に朝日が当たってキラキラしている様子がすごくきれい。食は「車エビ」。今、女将(おかみ)の会でしゃぶしゃぶを研究中です。

若手リーダー
姫島村青年団長
追崎由良 さん

東京からのお客さんが増えています。テレビ番組で取り上げられた効果が大いだと思います。

須賀 去年は芸能人もたくさん来ました。

三浦 海外からのお客さんはどうですか。

須賀 ジオパークに認定された後、外国人のお客さんをよく見ました。ヨーロッパ系の20人ぐらいの団体で、矢張り登っていました。

木野村 前に来た人が「口コミ」で広めてくれたようです。

客の行動変化してきた

三浦 周りの人に姫島に行ったことがあるかと聞くと、ほとんどが「行ったことはないけど1回は行きたい」と言います。観光資源のポテンシャルはあるので、距離的な問題とか、フェリーに乗らないといけないとか、そこがネックになっているのかなと感じます。皆さんが困っていることや課題に思っていることを紙に書いてください。

追崎 「時間(フェリー)」

安西 「宣伝(インターネット)」

須賀 「島までの公共交通機関、島内の交通機関」

木野村 「『フェリーに乗らないと来れない』ではなく『フェリーに乗って来れる』というふうを意識改変しないといけない」

三浦 皆さん、交通を挙げていますね。

木野村 フェリーに乗るだけで楽しめるような仕組みづくりをして、お客さんにもそういう売り込み方をしないといけないと思います。

安西 ちょっと前まで「車のフェリー代が高い」というお客さんが多かったけど、最近はあまり聞かなくなりました。車で来ても、車は旅館に置いて自転車まで回るとか、だんだんお客さんが変わってきたと感じます。

若手リーダー
安西旅館女将
安西千代里 さん

木野村 フェリーのポイントカードを発行するのも面白いかも。土産物10%オフとか、観光船500円オフとかに使えるようにしたいんじゃないでしょうか。協力すればできます。

若手リーダー
姫島観光LIP「島の風」組合員
木野村光紀 さん

園田 姫島のフェリーが現金払いなのが、旅行会社からすれば少し面倒です。クーポンで支払いができるフェリー会社やバス会社もあり、そこではお客さんにクーポンを渡すだけで済みます。例えば振り込みや売り掛けができるようにしてくれと、もう少しお客さんを送りやすいんですが。

須賀 バスや電車などの利便性を良くするのは難しいでしょう。一人旅をしている人からの問い合わせもあるけど、宇佐まで電車来てバスに乗ってとなると、時間が合わないことがよくあります。島の交通機関としてはレンタサイクルしありません。歩いて回る楽しさを意識付けていくことが大事になってくると思います。

施設によって差が出る

三浦 「バスがないけど、歩いて楽しい」というふうに変えられればいいですね。

須賀 拍子温泉に行く無料の巡回バスは出ていますが、島の人が使っている。でも最近観光客も乗っています。

安西 そのバスをフェリーの時間と合わせてくれるといいなと思います。ぜひたくを言えば、空港や宇佐駅から島までの直行バスがきたらいいんですが。

木野村 島の人間が会社を立ち上げないと難しいでしょう。行政も民間もできるところからやっていると感じます。

追崎 どちらにしてもフェリーの時間に縛られますね。

安西 女将の会で新しいことを始めるとき、

インターネットで宣伝しようとすると思う人が限られて、個人的に負担が掛かります。車えびフェアなど、みんなて宣伝してもお客さんがいっぱい来る施設と来ない施設の差が出て問題になります。

体験プログラムを宣伝

三浦 観光客のターゲット層はあります。

木野村 砂浜は家族連れ、村歩きは年配の人など、ものによって違います。

安西 子どもが遊べる所をつくりたいです。磯で小魚を捕まえるとか、磯遊びが結構面白いのに、そういう提案をまだしていません。

須賀 これから教育や観光、防災など、いろんな分野をジオパークとしてどう生かしていくかが大事になります。地元の海を知るという意味で、ジオパークでも子どもを受け入れて磯遊びなどを体験してもらおうと考えています。そこから姫島を好きになってほしい。子どもの話を聞いた親も姫島に来てくれるようになります。

木野村 いろんな種類の海藻を押し花みたいにする「海藻おしぼ」は、子どもだけじゃなく大人もできる体験です。

安西 他にも、郷土料理のかんころ餅つくりやきつね踊り、創作踊りなどの体験プログラムがありますが、お客さんはなかなか来ません。どうやって宣伝すればいいんでしょう。

木野村 知ればやりたいと思う人がいると思うんですよ。

安西 日にちを決めてしているので、来たときにすぐできないのが問題ですね。

島知って好きになって

三浦 新聞に載っていたんですが、姫島の中学生がジオパークの現地見学をして、「知らなかったことを知って姫島がもっと好きになりました」とコメントしていました。今何をやるかで未来が決まると思います。将来どういう姫島にしたいのか、目標にする姿をまた紙に書いてください。

木野村 「子どもたち(若い人)が地元に残って働ける場所が選べる」。今は役場とエビ会社の採用がなければ島に帰ってきてても働ける場所がない状態で、その2択か0択です。うちの娘は姫島が好きで、まだ小さいけど「島に残りたい」と言っています。働く場所をたくさんつってあげるのが僕の役目かなと思います。仕事の種類が増えることが姫島の活性化にもつながります。

須賀 僕は「子どもが戻ってきたい、帰りたいと思う姫島」が目標。これから小中学生や島の人たちに知ってもらうための学習会を企画すると思いますが、ジオパークの活動を

通して島を好きになってほしいという思いがあります。去年、同じくジオパークに認定された豊後大野市の清川小の児童が姫島に来たとき、姫島の小学生がガイドをしましたが、姫島についてかなり勉強したようです。姫島のことをもっと知って、どんどんアピールしてほしいです。

追崎 僕は「？」。島はもうこれ以上、当たらなくないと思うんです。磯遊びする場所も、自分の小さい時に比べたらだいぶ減っています。そういう場所を子どもたちに残していけたらと思っているので、護岸工事をしないでほしいと思うけど、漁師の皆さんにしてみれば「してくれ」という人もいます。だから「？」しか書けませんでした。でも残すのはちゃんと残していけたらと思います。

安西 私は「観光客が島に来て楽しめる、また来たいと2泊3泊する」。本当に島に来たいと思った人が来て、「また来たい」と思ってもらえる

ようにしていきたい。姫島は住んでいる人がすごく面白いんです。じいちゃんやばあちゃんは漫才師のよう。おばちゃんたちの元気さには圧倒されます。人を生かしていけないかと思うんです。

園田 姫島の人は、大きな観光バスで、観光客がどっと来るのをどう考えているんでしょうか。私がある団体さんに日帰りの旅行コースを提案した時、姫島に応募が殺到しました。団体バスで行かないとなかなか行く機会がないようです。

木野村 観光客は夏と秋が多いので、平均して来るというんですけど。

50～60代のガイド養成

三浦 冬場はあまりイベントがないようですが、春から秋にかけては、かれい祭、アサギマダラ、ビーチサッカーフェスタ、盆踊り、トライスロン、舟引き祭り、車えび祭がありますね。

木野村 これからは通年で人を呼べるような、いつ来てもよかったと帰れるような仕組みをつくるのが大事だと思います。

安西 遊覧船もその一つです。

木野村 冬はしけるけど、通年やっています。スケジュールが合えばいつも乗れます。

園田 何人ぐらい乗れますか。

木野村 操船と専門ガイドの他に、お客さんは10人ぐらい乗れます。ガイドはお客さんの心をつかむのがうまいおっちゃんたちです。

須賀 ジオパークではガイドも養成しています。磯遊びに詳しい人とか、トレッキングしながら話ができる人とか、いろんなガイドがいていいと思っています。

安西 できる人はたくさんいるけど、それをどうやってまとめて、育てて、宣伝してお客さんを呼ぶかか難しいところですね。

須賀 50代、60代の人は姫島に詳しいので、そういう人たちが意欲的に関わっていけるような形を作っていきたい。そういうガイドがいれば、日帰りが1泊2日になると思います。

人と人をつなぐ人を

三浦 町の観光をリードする人はいますか。

木野村 団体ごとにはいろいろやっていていて、連携の取り方が下手なんです。

安西 若い人からまため役が出てほしい。

園田 旅行から帰ってきたお客さんに感想を聞くと、一番重要に考えているのが食事と宿、そして人です。「あそこのガイドさんがすごくよかったから、また会いに行きたい」というお客さんもいます。姫島は人がすごくいいところなので、お客さんが姫島に来て、姫島の人と触れ合っ

て、「もう一回あのの人に会いに行きたい」と思えるようにしたらリーダーにつながります。姫島を知らない人もまだまだたくさんいるので、まず大分の人か姫島の人と触れ合って、県外の知り合いに

にどんどん広めていけばいいと思います。

安西 泊まると触れ合う機会も増えます。「子どもたちがよくあいつする」といってお客さんが喜んでくれます。

園田 村の人があいさつしてくれる、それだけでも疲れた現代人にとってはすごい癒やしになります。

木野村 島の名物おいちゃん、名物おばちゃん観光客を結び付ける仕組みがあるといいですね。

三浦 ではキーワードは「人」にしますか。

木野村 それをつなぐことが大切です。

須賀 「つなぐ人」ですね。

NTT docomo

たった3年で人生は変わる。

ドコモの学割 学生家族 いっしょ割

ドコモなら!

申込期間 2014/6/1まで

新規・のりかえの学生もそのご家族も

基本使用料 3年間0円

学生

2013年6月以降に新規・のりかえでドコモをご契約の学生(3歳以上小学生未満のお子さま含む)

家族

新規・のりかえでご契約と同時に、「ドコモの学割2014」適用中の学生と同一「ファミリー割引」グループに加入されるご家族

※ご利用には別途、通話・通信料、付加機能使用料、ユニバーサルサービス料などががかかります。

★契約期間2年単位で自動更新、更新後を含む契約期間内の途中解約などの場合には、9,500円(税抜)の解約金がかかります。

ドコモなら!

申込期間 2014/6/1まで

機種変更のご家族も

基本使用料 1年間0円

家族

iPhoneまたはXiスマートフォンをご購入時点で、「ドコモの学割2014」適用中の学生と同一「ファミリー割引」グループに加入されているご家族

春の学生
スマホ割学生の方は
Xiスマホ(Android)の
ご購入もおトク!

※対象機種や適用条件、終了時期など詳しくはドコモのホームページへ。

さあ、ドコモに
ONE DIRECTION強いLTEで学生を応援!
県内「つながる」速度No.1※九州7県スマートフォン速度実測調査 調査期間2014/2/5~18
株式会社イー調 調べ ※ダウンロード速度において

詳しくは ドコモの学割 検索

危険です、歩きスマホ。

3G・4G・LTE

モバイルWi-Fiネットワーク

携帯Wi-Fiのサービスに活用可能。